

## 梅毒検査

梅毒 (syphilis) とはスピロヘータ科の *Treponema pallidum* と呼ばれる細菌による性行為感染症です。おもに性交による接触で外陰部や膣の小さな傷から侵入します。感染するとまず局所 (外陰部) に丘疹、潰瘍などができ、その後全身に病変が広がります。放置すると中枢神経や心血管、内臓の異常をおこします。

お母さんから赤ちゃんへの母子感染をおこすことも知られています。感染の時期により赤ちゃんへの影響は異なりますが、子宮内で赤ちゃんが死亡したり、先天梅毒児として生まれてくることもあります。そのため全妊婦に対して公費で梅毒血清反応検査が実施されています。

検査は血液検査により行われます。初期梅毒を見逃さないために 2 種類の血液検査結果を組み合わせで判定します。さらに別の血液検査が必要になる場合もあります。

もし梅毒である、もしくは梅毒である可能性が強い、と判断された場合は治療が必要になります。梅毒に有効であり赤ちゃんに影響が少ないといわれているペニシリン系の抗生物質を使用します。最低でも 1 ヶ月は治療する必要があります。また、梅毒反応が陽性の場合、ご主人の検査や治療も同時に必要になります。